

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	31	入居者の高齢化や重度化に伴い、身体介助の必要な方が増えてきている。	・介護度や、その方の状態に応じた適切な支援ができる。	・身体介助等の勉強会を開き、知識や技術を習得する。 ・工夫点など職員間で情報交換を行う。	12ヶ月
2	10	家族総会や第三者委員による相談日を設けたり、要望等伺うよう努めているが、活発な意見がよせられるような工夫が必要である。	・家族との信頼関係を築き、普段の会話の中で不満や意見、要望を気軽に話せる雰囲気作りに努める。	・面会時に利用者の生活状況を伝え、状態を理解して頂くと共に、積極的にコミュニケーションを図りながら要望等を伺う。 ・遠くに住んでいる家族や状態変化等は、電話連絡に努める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。